

平成28年省エネルギー基準対応

自己適合宣言書文書番号:LXEC-1601

JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書(附属書)

本附属書は、自己適合宣言書と合わせてお使いください。

作成:2024年03月05日

開口部の熱貫流率・日射熱取得率 性能一覧 (RWG178)

株式会社LIXIL

商品: LWスライディング

品種: 1本引込み 収納部FIX仕様(サッシ面積:2.6㎡以下の場合)

ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率・日射熱取得率

熱貫流率(A、B)は、表1を参照ください。

表中の記号及び数値については、当社製ガラスでの評価となります。

☆:室内外ガラス構成は、反転します。

<ガラスの日射熱取得率>

		中空層:アルゴンガス入り				
		一般		防犯		
		透明		透明(中間膜30mil)		
ガラス構成	室外ガラス厚	4	5	3+3	3+3	
	中空層厚	16	16	16	16	
	室内ガラス厚	4	5	4	5	
熱貫流率	Low-E色	グリーン	A	A	A	A
		グリーン(高遮熱型)(☆)	A	A	A	A
		クリア	B	B	B	B
日射熱取得率	Low-E色	グリーン	0.37	0.36	0.34	0.34
		グリーン(高遮熱型)(☆)	0.30	0.30	0.30	0.30
		クリア	0.46	0.46	0.43	0.43

		中空層:アルゴンガス入り				
		一般		防犯		
		透明		透明(中間膜30mil)		
ガラス構成	室外ガラス厚	4	5	3+3	3+3	
	中空層厚	16	16	16	16	
	室内ガラス厚	4	5	4	5	
日射熱取得率	Low-E色	グリーン	0.46	0.45	0.43	0.43
		グリーン(高遮熱型)(☆)	0.38	0.37	0.37	0.37
		クリア	0.58	0.57	0.54	0.54

☆:室内外ガラス構成は、反転します。

<外皮性能計算・採光計算時の注意事項>

収納部FIX仕様の基本寸法は可動障子側を基準に設定しており、呼称幅には収納部FIX側が含まれていません。そのため、外皮性能計算等のサッシ面積の計算時には、伝熱開口寸法W,H'(付属図参照)を使用してください。

<表1>熱貫流率の値

・樹脂スペーサー仕様

記号	試験値	計算値	開口部の熱貫流率[W/(mK)]			ガラス中央部の熱貫流率[W/(mK)]
			付属部材無し	和障子付	風除室あり	
A		○	1.90	1.66	1.60	1.1 以下
B		○	1.99	1.73	1.66	1.2 以下

当社製以外のガラスの場合は、「<表1>熱貫流率の値」のガラス中央部の熱貫流率にて判断してください。

<開口部の熱貫流率>

- ・試験値はJIS A 4710に基づく代表試験体の熱貫流率です。
- ・計算値はJIS A 2102の熱貫流率の計算に基づき計算した代表試験体の熱貫流率です。
- ・代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の「窓・ドアの熱貫流率に関し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の性能を有すると認められる評価品の範囲を定める基準」に基づきます。
- ・可動障子部とFIX部に異なる複層ガラスを使用する場合、ガラス中央部の熱貫流率の性能の低いガラスでの評価となります。

<日射熱取得率>

- ・国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の「開口部の垂直面日射取得率」に基づく値です。(本表ご使用の場合は、和障子及び外付けブラインド取付け時と同じ値となります。)
- ・開口部の日射熱取得率は、ガラスの日射取得率に0.8の係数を掛けた値です。(小数第三位以下四捨五入)
- ・当社ホームページ内「①建具とガラスの組み合わせ」の「ガラス・建具毎の日射熱取得率」の値もご使用可能です。
- ・住宅の仕様基準判断にご使用の場合は、「住宅仕様基準判断用日射熱取得率(ガラスの日射熱取得率)」をご使用ください。

平成28年省エネルギー基準対応

自己適合宣言書文書番号:LXEC-1601

JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書(附属書)

本附属書は、自己適合宣言書と合わせてお使いください。

作成:2024年03月05日

開口部の熱貫流率・日射熱取得率 性能一覧 (RWG178)

株式会社LIXIL

商品: LWスライディング

品種: 1本引込み 収納部FIX仕様(サッシ面積:2.6㎡を超える場合)

ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率・日射熱取得率

熱貫流率(A、B)は、表1を参照ください。

表中の記号及び数値については、当社製ガラスでの評価となります。

☆:室内外ガラス構成は、反転します。

<ガラスの日射熱取得率>

		中空層: アルゴンガス入り				
		一般		防犯		
		透明		透明(中間膜30mil)		
ガラス構成	室外ガラス厚	4	5	3+3	3+3	
	中空層厚	16	16	16	16	
	室内ガラス厚	4	5	4	5	
熱貫流率	Low-E色	グリーン	A	A	A	A
		グリーン(高遮熱型)(☆)	A	A	A	A
		クリア	B	B	B	B
日射熱取得率	Low-E色	グリーン	0.37	0.36	0.34	0.34
		グリーン(高遮熱型)(☆)	0.30	0.30	0.30	0.30
		クリア	0.46	0.46	0.43	0.43

		中空層: アルゴンガス入り				
		一般		防犯		
		透明		透明(中間膜30mil)		
ガラス構成	室外ガラス厚	4	5	3+3	3+3	
	中空層厚	16	16	16	16	
	室内ガラス厚	4	5	4	5	
日射熱取得率	Low-E色	グリーン	0.46	0.45	0.43	0.43
		グリーン(高遮熱型)(☆)	0.38	0.37	0.37	0.37
		クリア	0.58	0.57	0.54	0.54

☆:室内外ガラス構成は、反転します。

<外皮性能計算・採光計算時の注意事項>

収納部FIX仕様の基本寸法は可動障子側を基準に設定しており、呼称幅には収納部FIX側が含まれていません。そのため、外皮性能計算等のサッシ面積の計算時には、伝熱開口寸法W、H(付属図参照)を使用してください。

<表1> 熱貫流率の値
・樹脂スペーサー仕様

記号	試験値	計算値	開口部の熱貫流率[W/(m ² K)]			ガラス中央部の熱貫流率[W/(m ² K)]
			付属部材無し	和障子付	風除室あり	
A		○	1.74	1.54	1.49	1.1 以下
B		○	1.84	1.62	1.56	1.2 以下

当社製以外のガラスの場合は、「<表1> 熱貫流率の値」のガラス中央部の熱貫流率にて判断してください。

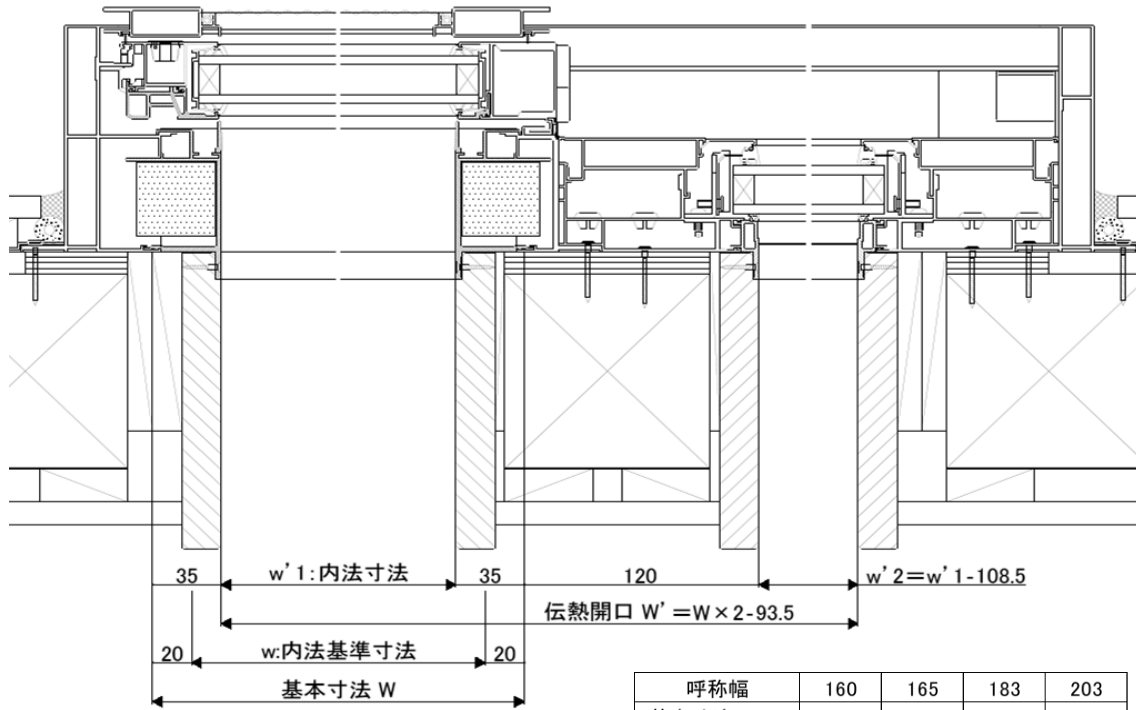
<開口部の熱貫流率>

- ・試験値はJIS A 4710に基づく代表試験体の熱貫流率です。
- ・計算値はJIS A 2102の熱貫流率の計算に基づき計算した代表試験体の熱貫流率です。
- ・代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の「窓・ドアの熱貫流率に関し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の性能を有すると認められる評価品の範囲を定める基準」に基づきます。
- ・可動障子部とFIX部に異なる複層ガラスを使用する場合、ガラス中央部の熱貫流率の性能の低いガラスでの評価となります。

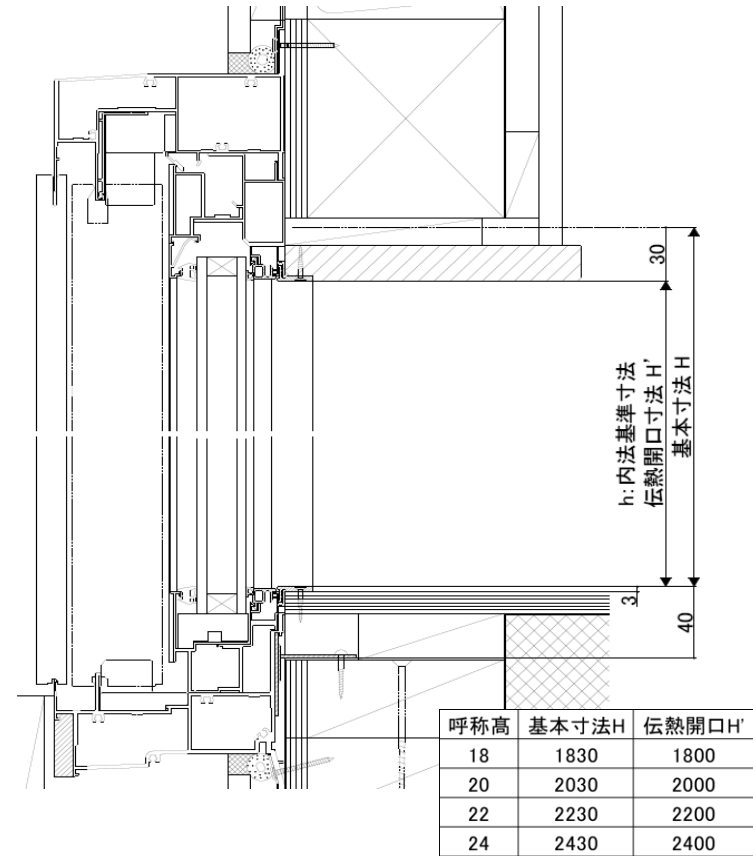
<日射熱取得率>

- ・国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の「開口部の垂直面日射取得率」に基づく値です。(本表ご使用の場合は、和障子及び外付けブラインド取付け時も同じ値となります。)
- ・開口部の日射熱取得率は、ガラスの日射取得率に0.8の係数を掛けた値です。(小数第三位以下四捨五入)
- ・当社ホームページ内「①建具とガラスの組み合わせ」の「ガラス・建具毎の日射熱取得率」の値もご使用可能です。
- ・住宅の仕様基準判断にご使用の場合は、<住宅仕様基準判断用日射熱取得率(ガラスの日射熱取得率)>をご使用ください。

■LW収納部FIX仕様 伝熱開口寸法



呼称幅	160	165	183	203
基本寸法W mm	1640	1690	1870	2070
伝熱開口W' mm	3186.5	3286.5	3646.5	4046.5



呼称高	基本寸法H	伝熱開口H'
18	1830	1800
20	2030	2000
22	2230	2200
24	2430	2400